

製品安全対策優良企業表彰

受賞企業講演会

JGKAにおける 製品安全への取組

平成28年2月22日

ご説明内容

【1】(一社)日本ガス石油機器工業会の概要

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

1. 製品安全に関する自主行動計画の制定
2. 事故情報の収集、公表、分析及び対策の検討
3. 製品の安全性向上への取組
4. 製品に安全上の問題が発生した場合の取組

【3】製品安全文化構築への取組

1. 安全基準やガイドライン等の策定
2. 製品安全に関する情報発信
3. 製品安全セミナー等への講師派遣
4. 経年劣化事故対策活動の推進

【1】(一社)日本ガス石油機器工業会(JGKA)の概要

会長：國井総一郎

〔(株)ノーリツ 代表取締役社長〕

- 設立：1961(S36)年4月3日(法人認可
1962(S37)年4月2日)
- 会員数：103社(家庭用のガス・石油
機器及び関連部品の製造及び販売
会社、並びに賛助会員)
- 目的：ガス・石油機器産業の健全な発
展を図り、もって国民生活文化の向上
とわが国産業の発展に寄与すること
を目的とする。



事業の概要

事業方針

製品安全事業

製品安全化
の対応

需要促進事業

ガス・石油機器の
需要拡大

省エネ・環境事業

エネルギー・環境問題
の対応

標準化推進事業

測定方法の標準化
及び基準の策定

情報調査事業

事業推進に係る内容を
柱とした情報収集活動

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

1. 『製品安全に関する自主行動計画』、『製品安全自主行動計画策定ガイドライン』の制定

『製品安全に関する自主行動計画』

平成19年3月9日
(社)日本ガス石油機器工業会

(社)日本ガス石油機器工業会は、会員企業が製品安全に前向きに取り組み、消費者から信頼される業界を醸成するために、引き続き「消費者重視」の視点に立ち、以下の活動をより一層強化することにより、ガス・石油機器の安全確保に貢献します。

1. 国の「製造事業者による製品安全自主行動指針」に基づき、会員企業のためのガス・石油機器に係る『製品安全自主行動計画策定ガイドライン』を作成するとともに、その後の継続的な活動を支援します。
2. 製品事故等（不具合、苦情、類似製品の事故を含む）の情報を収集・集約し、公表するとともに、再発防止策の検討を行い、必要に応じ各種施策を実施します。
3. 国、関連機関との密接な連携を保つことにより、製品事故報告制度の適正な運用を期します。
4. 業界として、消費者に対するガス・石油機器の正しい使い方の啓発や誤使用に関する情報提供などを通じ、「製品安全文化」の定着に貢献するよう努めます。

ガス・石油機器に係る『製品安全自主行動計画策定ガイドライン』

このガイドラインは、「製品安全に関する自主行動計画」に基づき、会員による自社の「製品安全自主行動計画（以下、行動計画という。）」の策定を支援するために作成するものです。

各会員においては、自社の行動計画を策定するにあたり、実効性を高め、自社製品の安全性に対する消費者の信頼を確保するため、以下の事項を十分に留意し、反映することが望まれます。

各会員は、国の「製造事業者に係る自主行動指針」及びこのガイドラインを参考の上、自社独自の製品安全確保に関するノウハウを盛り込み、行動計画を策定して下さい。

また、このガイドライン制定の主旨に関連する修理・設置工事事業者並びに販売事業者にご理解いただくために、幅広くご周知下さい。

会員の行動計画は、トップマネジメントが率先して、P D C A（Plan→Do→Check→Action）サイクルを利用して、定期的な点検と必要な見直しを行っていくことが望まれます。

【1】企業トップの意識の明確化について

1. 消費者に安全な製品を供給し、安全・安心な社会を構築するといった社会的責任を十分に認識し、経営の基本方針に「消費者重視」「製品安全の確保」を掲げ、経営者自らの言葉として、その方針を具体化したメッセージを社員に発すること。
2. 会社内の内部統制システム構築の一環として取締役会で議決し、策定した旨を対外的にも開示すること。

【2】体制整備及び取組について

別に定める『ガス・石油機器 製品事故対策マニュアル』、『製品事故 公表ガイドライン』並びに経済産業省の発行する『リコールハンドブック』（平成19年4月発行予定）を積極的に参照、活用すること。

1. リスク管理体制の整備

- (1) 誤使用も含めた製品の使用に伴うリスクの洗い出しを行い、そのリスクを評価し、その結果を製品の設計、部品、警告ラベル、取扱説明書にフィードバックする等、継続的な製品安全向上に努めること。
- (2) 修理・設置に伴う不具合情報を基に修理・設置説明書にフィードバックすることなどにより、継続的に製品安全を向上させること。
- (3) 製品の安全基準、品質管理、原材料や部材の調達、製品の製造、製品の販売等において、社内の部署を横断的に指示できる権限を有する製品安全担当部署を設置すること。
- (4) 重大製品事故等の発生等により消費者が大きな被害を受ける場面を想定し、事故情報の収集、伝達・開示及び、是正（製品回収等）の各種マニュアルを策定し、実効性ある緊急時の体制を整備すること。
- (5)法令遵守の周知徹底を図るための教育・研修体制を整備するとともに、本自主行動計画の実効性が確保されているかどうか、定期的に内部監査等によりモニタ

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

2. 事故情報の収集、公表、分析及び対策の検討

- ① JGKAの発行する『**ガス・石油機器 製品事故対応ガイドライン**』により、各社から報告された**事故内容を、工業会ホームページで公表**

ガス機器や石油機器を安全にご利用いただくための情報や、統計資料を公開しています。

▶ [サイトマップ](#)

JGKA 一般社団法人 **日本ガス石油機器工業会** A_A 文字サイズ ▶ [文字サイズの変更方法](#)

[ホーム](#) [工業会について](#) [消費者の皆様へ](#) [会員の皆様へ](#)

[ホーム](#) > [ガス・石油機器 事故情報](#)

ガス・石油機器 事故情報

(社) 日本ガス石油機器工業会では、ガス・石油機器の製品事故による消費者への危害や損害を防止するため、ガス・石油機器の事故情報の収集及び公表を行なっております。

■ **事故の分類**

- A1：重大製品事故（死亡事故、重傷病事故、後遺障害事故、一酸化炭素（CO）中毒事故、火災）
- A2：重大製品事故以外の製品事故
- B1：製品の欠陥により生じた事故ではなく、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
- B2：製品の欠陥により生じた事故ではなく、危害が重大製品事故以外の事故

2015年事故情報（速報）

2015年ガス重大製品事故（A1）	▶ ガス機器  (PDF：212.1 KB)	2015年08月31日更新
2015年石油重大製品事故（A1）	▶ 石油機器  (PDF：179.8 KB)	2015年08月31日更新

[経済産業省ガス事故速報](#) 

[NITE\(\(独\)製品評価技術基盤機構\)製品速報\(ガス・石油製品含む\)](#) 

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

①(続き:ホームページ掲載事例)

重大製品事故(A1) ガス機器

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容
							死亡	重傷	軽傷	その他	火災	
A1G15- 073	2015/7/22	2015/08/31	ガス栓(LPガス用)	L-275D	(株)藤井合金製作所	茨城県						○ 当該製品に接続したガスこんろを使用しようとしたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。
A1G15- 072	2015/8/7	2015/08/31	ガスこんろ(LPガス用)	PD-KN42WV-60-R	(株)パロマ	静岡県						○ 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。
A1G15- 071	2015/8/9	2015/08/31	ガスふろがま用パーナー(都市ガス用)	TA-CU-126ST(東京ガス(株)ブランド:型)	(株)世田谷製作所(東京ガス(株)ブランド)	東京都						○ 当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。
A1G15- 070	2015/7/30	2015/08/31	ガスふろがま(都市ガス用、密閉式(BF式))	GF-500SD(東京ガス(株)ブランド:型式TP-705BFDPG)	高木産業(株)(現パーパス(株))(東京ガス(株)ブランド)	東京都			1			○ 当該製品を点火したところ、爆発し、周辺を破損し、1名が軽傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。
A1G15- 069	2015/8/5	2015/08/31	ガスこんろ(LPガス用)	T32-61(タカラスタンダード(株)ブランド)	パロマ工業(株)(現(株)パロマ)(タカラスタンダード(株)ブランド)	鹿児島県						○ 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。
A1G15- 068	2015/8/7	2015/08/31	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、半密閉式(FE式))	GQ-5011WZQ-F-1(推定)	(株)ノーリツ	千葉県						○ 店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。
A1G15- 067	2015/7/15	2015/08/18	ガスこんろ(都市ガス用)	PA-10HSF	パロマ工業(株)(現(株)パロマ)	兵庫県						○ 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。
A1G15- 066	2015/7/17	2015/08/18	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	MA-040B(東京ガス(株)ブランド)	松下電器産業(株)(現パナソニック(株))(東京ガス(株)ブランド)	群馬県						○ 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。
A1G15- 065	2015/7/26	2015/08/18	ガスふろがま(都市ガス用、屋外式(RF式))	GSY-133E	(株)ノーリツ	長崎県						○ 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

②製品事故データの分析・対策の検討

重大製品事故受付件数(METI製品安全小委員会(5/22)資料より)

種別	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
ガス機器合計 (うちリコール品の件数)	218 (5)	201 (2)	199 (4)	164 (1)	148 (7)	120 (10)	124 (5)
石油機器合計 (うちリコール品の件数)	202 (39)	180 (36)	140 (41)	172 (27)	126 (24)	126 (23)	82 (14)
合計 (うちリコール品の件数)	420 (44)	381 (38)	339 (45)	336 (28)	274 (31)	246 (33)	206 (19)

* 消費者庁受付件数は減少傾向である

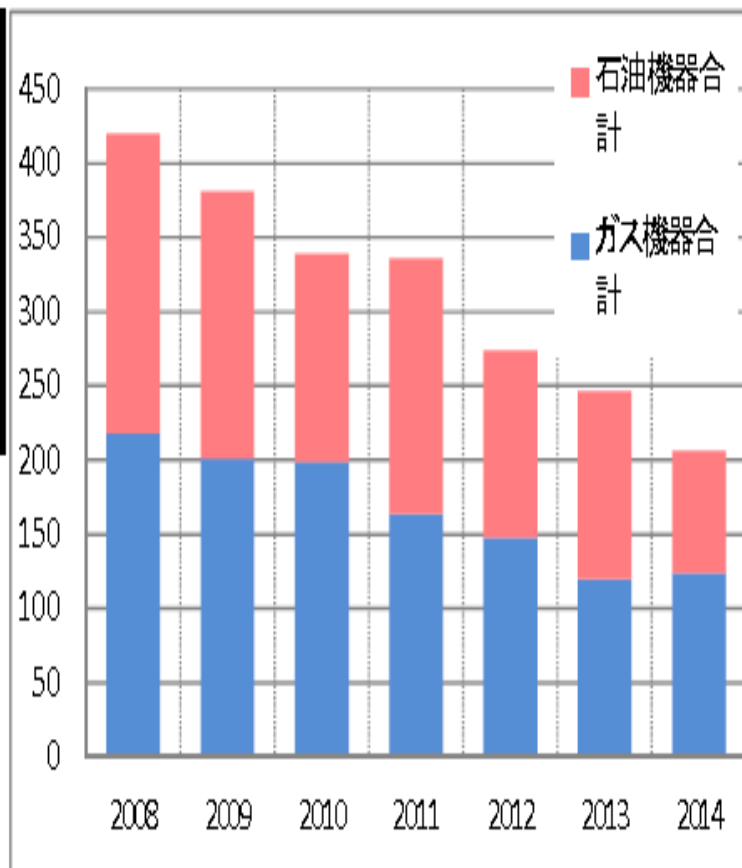
当工業会の中期計画

2016年における重大製品事故の受付件数目標値

ガス機器:100件未満

石油機器:100件未満

※2014年 石油機器は100件未満であったが、引き続き推移を見る



【2】製品の安全を確保・支援するための取組

製品事故受付件数(重大製品事故及び重大製品事故以外の事故の合計)

総合計

ガス機器	2010	2011	2012	2013	2014
ガス・石油機器 総合計	458	622	490	435	431

4.1 ガス機器

ガス機器	2010	2011	2012	2013	2014
ガスこんろ	129	112	94	58	66
ガスオーブン・レンジ・炊飯器等	12	12	8	4	5
ガス調理機器計	141	124	102	62	71
ガス温水機器 (ガスBF式ふろがま)	130	257	201	188	217
(ガスBF式ふろがま)	—	—	(107)	(79)	(82)
ガス温水機器計	130	257	201	188	217
ガストーブ等	16	10	7	3	5
ガス暖房機器等計	16	10	7	3	5
その他ガス機器	1	1	1	1	1
ガス機器合計	288	392	311	254	294

4.2 ガス栓・接続具

ガス栓・ガス接続具	20	27	28	18	28
-----------	----	----	----	----	----

4.3 カートリッジ燃料機器

カートリッジ燃料機器	13	19	14	15	10
------------	----	----	----	----	----

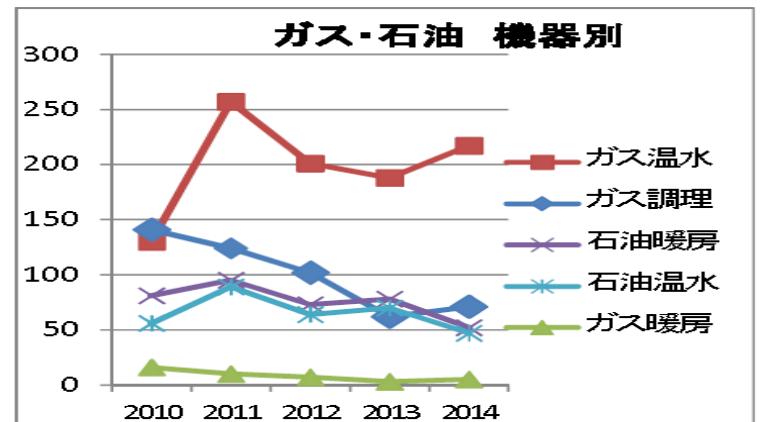
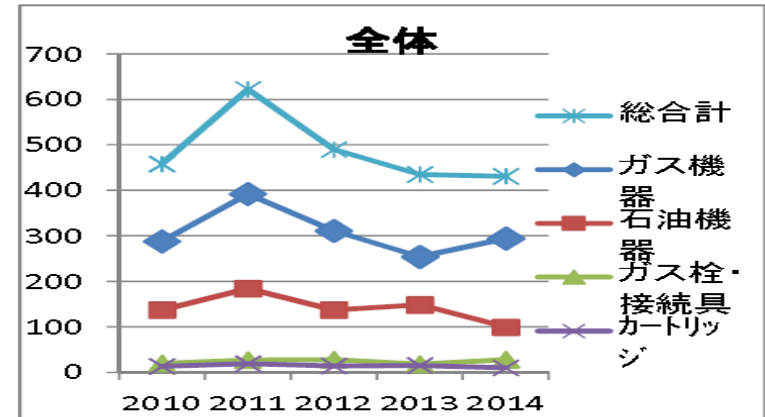
※相手方こんろ・ポンベの報告件数は除く

4.4 石油機器

石油機器	2010	2011	2012	2013	2014
石油ストーブ(開放式)・こんろ	52	45	46	43	29
石油ファンヒーター	19	35	16	25	17
石油ストーブ(半密閉・密閉式)	10	15	11	10	6
石油暖房機器計	81	95	73	78	52
石油給湯機等※1	47	55	44	47	33
石油ふろがま(薪兼用含む)※2	9	34	20	23	14
石油温水機器計	56	89	64	70	47
石油機器合計	137	184	137	148	99

※1:石油小形給湯機, 石油給湯機付ふろがま, 油だき温水ボイラ

※2:石油ふろがま, ふろバーナー, 薪兼用ふろがま等



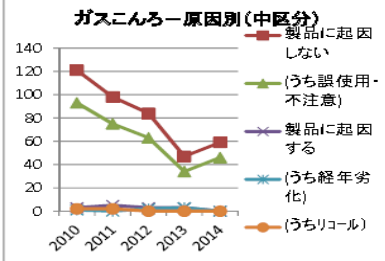
【2】製品の安全を確保・支援するための取組

事故データの事故原因分析①(ガス機器)

5.1 ガス機器

①ガスこんろ

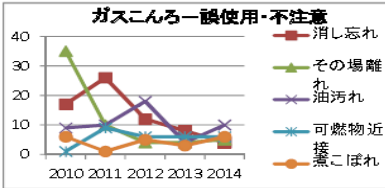
事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	121 (93)	98 (75)	84 (63)	47 (34)	59 (46)
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	3 (1)	5 (0)	3 (2)	3 (3)	0 (0)
(うちリコール)	(2)	(2)	(0)	(0)	(0)
原因不明・調査中等	5	9	7	8	7
計	129	112	94	58	66



ガスこんろの誤使用・不注意

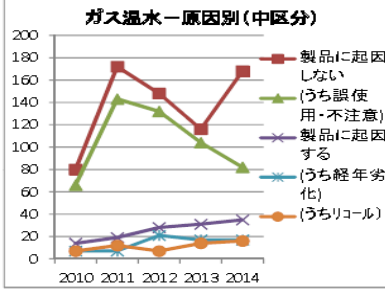
事故原因(小区分)	2010	2011	2012	2013	2014
消し忘れ	17	26	12	8	4
その場を離れた等の不注意	35	10	4	4	5
油污れ等に着火、手入れ不足	9	10	18	4	10
可燃物近接	1	9	6	6	6
煮こぼれ等によるもの	6	1	5	3	6

- 事故件数は58件→66件に増加。油污れ等着火、煮こぼれ等の誤使用・不注意の増加が原因。
- 誤使用・不注意の全体的な推移は、Siセンサーコンロ2500万台以上の普及により減少傾向。
- 油污れに着火、煮こぼれ等は安全対策サイトで注意、啓発している。
- ガール火災防止機能自主基準後の製品ではケル庫内の発火に留まるなど被害が小さい。



②ガス温水機器

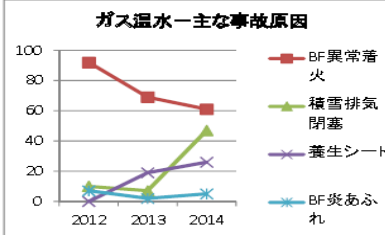
事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	80 (66)	172 (143)	148 (132)	116 (104)	168 (82)
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	14 (7)	19 (7)	28 (21)	31 (17)	35 (17)
(うちリコール)	(7)	(12)	(7)	(14)	(16)
原因不明・調査中等	36	66	25	41	14
計	130	257	201	188	217



ガス温水機器の主な事故原因

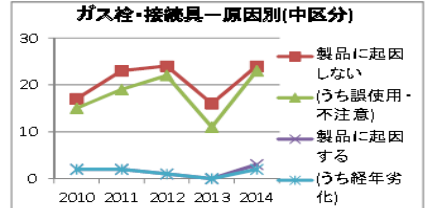
事故原因(小区分)	2012	2013	2014
BF式ふろがまの異常着火	92	69	61
積雪による排気閉塞	10	7	47
養生シートによる排気閉塞	0	19	26
BF式ふろがまの炎あふれ	7	2	5

- 事故件数は188件→217件に増加。積雪・養生シート等の製品に起因しない事故の増加が原因。
- 2月の大雪による異常着火が47件。
- 養生シートによる給排気閉塞で異常着火したものが26件。
- 経年劣化による事故が17件。
- 積雪・養生シート・経年劣化については安全対策サイトで啓発している。
- 技術上の基準強化後のCO中毒事故は無い。
- 電池化後のBF式ふろがまにおける事故は3件と少なく、何れも基準強化策に関わらない事象での事故であった。



5.2 ガス栓・接続具

事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	17 (15)	23 (19)	24 (22)	16 (11)	24 (23)
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	3 (2)
(うちリコール)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
原因不明・調査中等	1	2	3	2	1
計	20	27	28	18	28

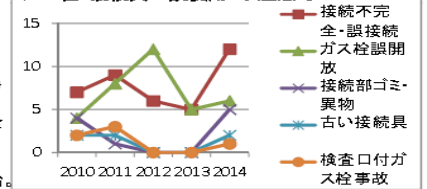


ガス栓・接続具の誤使用・不注意等

事故原因(小区分)	2010	2011	2012	2013	2014
接続が不完全・誤接続	7	9	6	5	12
ガス栓の誤開放	4	8	12	5	6
接続部のゴミ、異物	4	1	0	0	5
古い接続具からの漏れ	2	2	0	0	2
検査口付ガス栓の事故	2	3	0	0	1

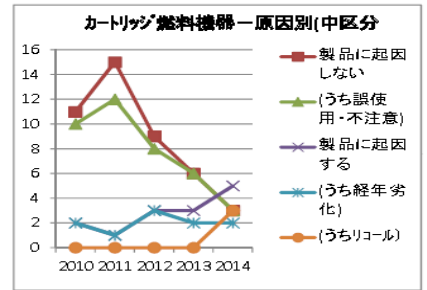
- 接続不完全・誤接続が12件、誤開放が6件、接続部のゴミ・異物が5件であった。
- 学校での事故が1→8件に増え、うち5件が接続不完全・誤接続であった。
- 接続不完全についてはSL兼用型(自在型)ガスコードへの移行、不完全接続が目視できる継手の発売開始。

ガス栓・接続具一誤使用・不注意等



5.3 カートリッジ燃料機器

事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	11 (10)	15 (12)	9 (8)	6 (6)	3 (3)
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	2 (2)	1 (1)	3 (3)	3 (2)	5 (2)
(うちリコール)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)
原因不明・調査中等	0	3	2	6	2
計	13	19	14	15	10

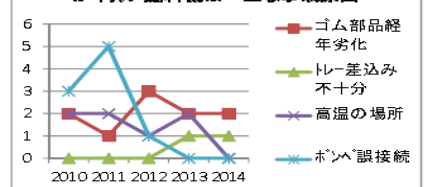


カートリッジ燃料機器の主な事故原因

事故原因(小区分)	2010	2011	2012	2013	2014
ゴム部品の経年劣化	2	1	3	2	2
トレイ差込み不十分	0	0	0	1	1
高温になる場所に置いた	2	2	1	2	0
ボンベ誤接続	3	5	1	0	0

- ゴム部品(リング)の経年劣化事故が2件
- 経年劣化や誤使用の対策としては、秋の火災予防週間の時期に各地方消防や消費者センターへ啓発チラシを送付、安全対策サイトで啓発等している。

カートリッジ燃料機器一主な事故原因



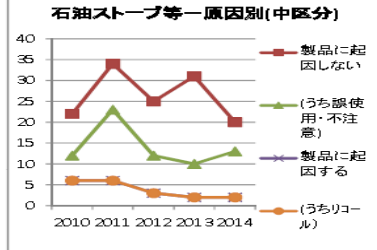
【2】製品の安全を確保・支援するための取組

事故データの事故原因分析②(石油機器)

5.4 石油機器

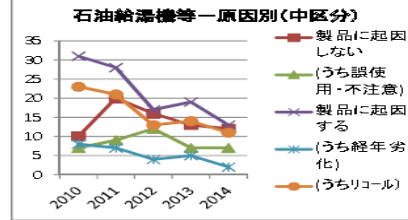
①石油ストーブ(開放式)・石油こんろ

事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	22	34	25	31	20
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	(12)	(23)	(12)	(10)	(13)
製品に起因する事故 (うちリコール)	6	6	3	2	2
原因不明・調査中等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
原因不明・調査中等 (うちリコール)	(6)	(6)	(3)	(2)	(2)
計	24	5	18	10	7
計	52	45	46	43	29



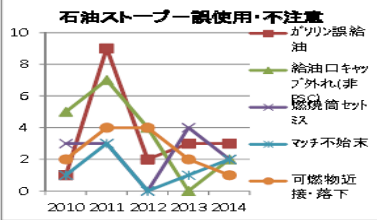
③石油小形給湯機+石油給湯機付きふろがま+油だき温水ボイラ

事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	10	20	16	13	12
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	(7)	(9)	(12)	(7)	(7)
製品に起因する事故 (うちリコール)	31	28	17	19	13
原因不明・調査中等	(8)	(7)	(4)	(5)	(2)
原因不明・調査中等 (うちリコール)	(23)	(21)	(13)	(14)	(11)
計	6	7	11	15	8
計	47	55	44	47	33



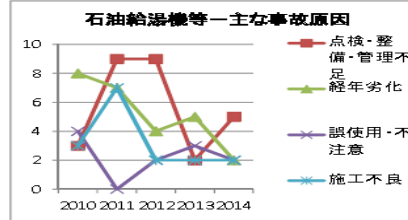
石油ストーブ等の誤使用・不注意

事故原因(小区分)	2010	2011	2012	2013	2014
ガソリン等の誤給油	1	9	2	3	3
給油口キャップ外れ(非PSC・非リコール)	5	7	4	0	2
燃焼筒セッミス	3	3	0	4	2
マッチの不始末	1	3	0	1	2
可燃物近接・落下	2	4	4	2	1



石油給湯機等の主な事故原因(リコールを除く)

事故原因(小区分)	2010	2011	2012	2013	2014
点検・整備・管理不足	3	9	9	2	5
経年劣化	8	7	4	5	2
誤使用・不注意	4	0	2	3	2
施工不良	3	7	2	2	2

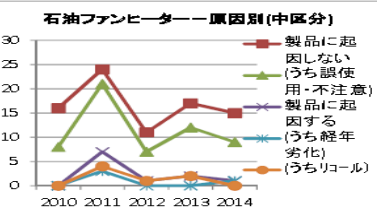


・点検・整備・管理不足が5件、経年劣化が2件と長期使用による事故が7件であった。これについては点検・取替えをお勧めしていく。

・ガソリン誤給油による火災、給油口キャップ外れによる火災がほぼ毎年発生している。本件については秋の火災予防週間の時期に各地方消防や消費者センターへ啓発チラシやQ&Aを送付し、安全対策サイトでも啓発等を行っている。

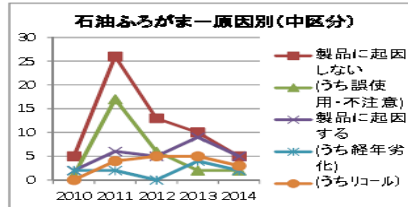
②石油ファンヒーター

事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	16	24	11	17	15
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	(8)	(21)	(7)	(12)	(9)
製品に起因する事故 (うちリコール)	0	7	1	2	1
原因不明・調査中等	(0)	(3)	(0)	(0)	(1)
原因不明・調査中等 (うちリコール)	(0)	(4)	(1)	(2)	(0)
計	3	4	4	6	1
計	19	35	16	25	17



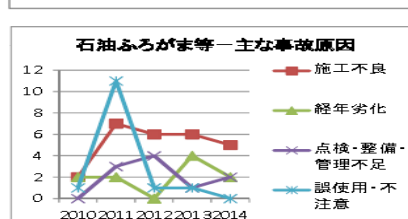
④石油ふろがま(薪兼用ふろがま、ふろパーナを含む)

事故原因(中区分)	2010	2011	2012	2013	2014
製品に起因しない事故 (うち誤使用・不注意)	5	26	13	10	5
製品に起因する事故 (うち経年劣化)	(1)	(17)	(6)	(2)	(2)
製品に起因する事故 (うちリコール)	2	6	5	9	5
原因不明・調査中等	(2)	(2)	(0)	(4)	(2)
原因不明・調査中等 (うちリコール)	(0)	(4)	(5)	(5)	(3)
計	2	2	2	4	4
計	9	34	20	23	14



石油ふろがまの主な事故原因(リコールを除く)

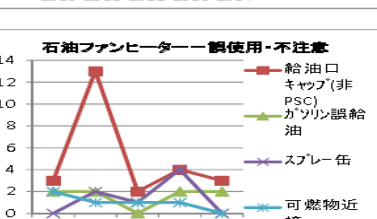
事故原因(小区分)	2010	2011	2012	2013	2014
施工不良	2	7	6	6	5
経年劣化	2	2	0	4	2
点検・整備・管理不足	0	3	4	1	2
誤使用・不注意	1	11	1	1	0



・施工不良は5件であった。
・経年劣化は2件、点検・整備・管理不足は2件で長期使用による事故は4件であった。これについては点検・取替えをお勧めしていく。

石油ファンヒーターの誤使用・不注意

事故原因(小区分)	2010	2011	2012	2013	2014
給油口キャップ外れ(非PSC・非リコール)	3	13	2	4	3
ガソリン等の誤給油	2	2	0	2	2
スプレー缶近接	0	2	1	4	0
可燃物近接	2	1	1	1	0



・ガソリン誤給油による火災、給油口キャップ外れによる火災がほぼ毎年発生している。本件については秋の火災予防週間の時期に各地方消防や消費者センターへ啓発チラシやQ&Aを送付し、安全対策サイトでも啓発等を行っている。

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

前述の検討結果を基に、更なる製品安全に向けた自主基準策定や安全啓発内容の見直しを実施している。

※製品事故事例から、具体的な啓発内容をホームページへ掲載

消費者の皆様へ

▶ **ガス機器**に関する情報

- ▶ [ガス機器の安全な使い方](#)
- ▶ [動画で見る安全な使い方](#)
- ▶ [ガス機器に関する冊紙・チラシ](#)
- ▶ [最新ガス機器のご案内](#)
- ▶ [古いガス機器をお使いの方へ](#)
- ▶ [ガス機器の選び方](#)
- ▶ [ガス機器のメンテナンス](#)

▶ **石油機器**に関する情報

- ▶ [石油機器の安全な使い方](#)
- ▶ [動画で見る安全な使い方](#)
- ▶ [石油機器に関する冊紙・チラシ](#)
- ▶ [最新石油機器のご案内](#)
- ▶ [古い石油機器をお使いの方へ](#)
- ▶ [石油機器の選び方](#)
- ▶ [石油機器のメンテナンス](#)

● 不安定な片手鍋などを使用するときの注意

必ず行う



取っ手
ごとのツメ

取っ手とごとのツメの方向を合わせる

片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋や軽い鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、コンロの中央に置くなど、安定した状態で使用してください。
不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて、落下するなどしてやけどの原因となります。

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

3. 製品の安全性向上への取組

製品安全に関する自主基準を検討・制定し、市場の安全性向上に貢献

- 2008年 **ガスこんろ…全口センサー化(4月自主規制, 10月法制化)**
特定保守製品…点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)搭載
- 2011年 **BF式ふろがま…電池化、爆着防止、ふろ消し忘れタイマー、冠水対策**
カートリッジこんろ…誤装着防止装置(こんろ装着レバーの操作力強化)
- 2012年 **ガスこんろ…グリル火災防止機能(消し忘れ消火機能、過熱防止装置、炎あふれ防止)**
- 2013年 ガス温水機器…経年劣化お知らせ機能(不安全系エラーのインターロック)
- 2014年 ガスこんろ…設計標準使用条件及びその試験条件
ガスファンヒータ…設計標準使用条件及びその試験条件
- 2015年 石油給湯機等…経年劣化お知らせ機能(不安全系エラーのインターロック)

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

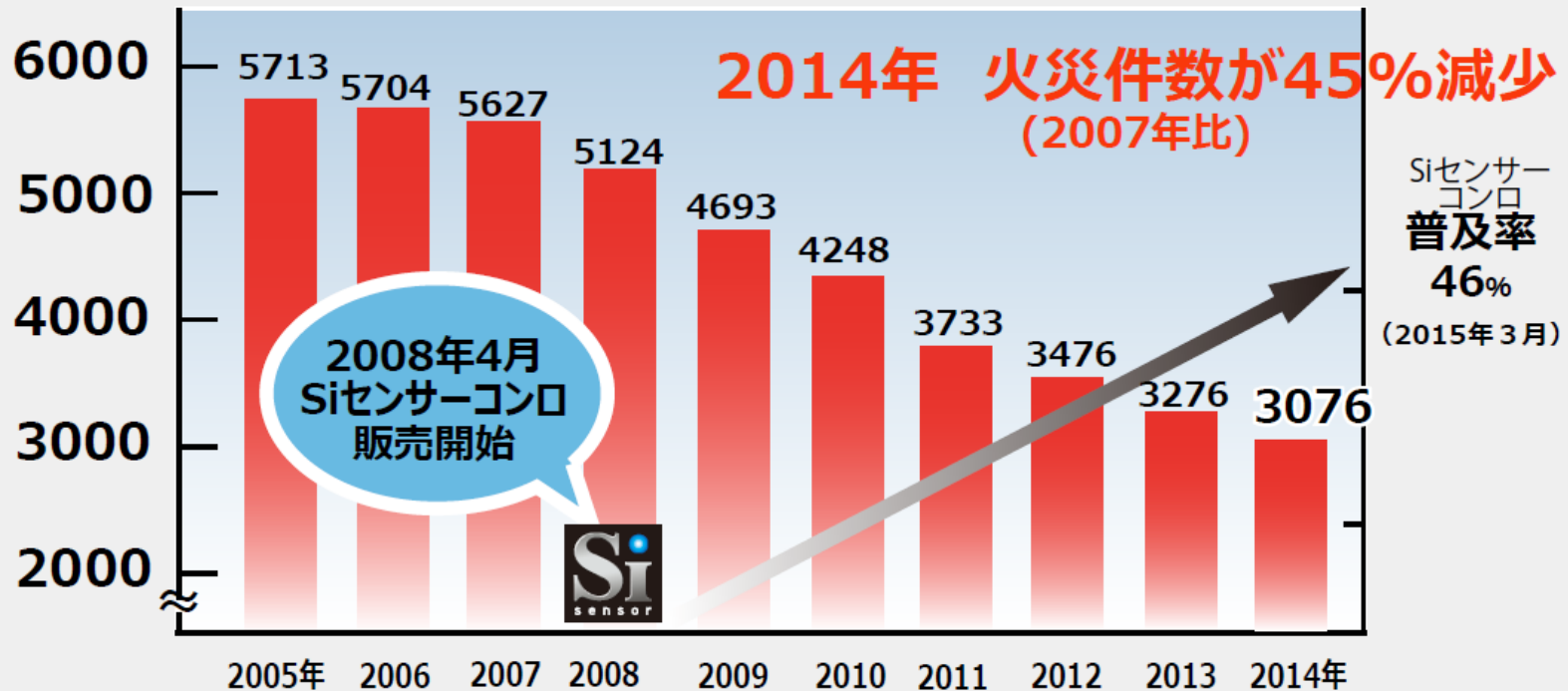
『2006～2015年版 消防白書』（総務省消防庁）より作成

コンロを起因とする火災事故とSiコンロの普及率

ガスコンロを原因とする火災件数の推移

(総務省消防白書より作成)

火災件数



火災件数は総務省消防白書より

Siセンサーコンロ普及率は日本ガス石油機器工業会出荷統計および住民基本台帳より算出

(出典: 総務省消防庁『消防白書』)

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

4. 製品に安全上の問題が発生した場合の取組

下記のガイドラインを制定し、会員企業へ周知徹底を図った。

①『**ガス・石油機器 製品事故対応ガイドライン**』の制定

- ・1991年5月に初版発行
- ・2006年12月に消費生活用製品安全法が改正され「製品事故情報報告・公表制度」が設けられた。
重大製品事故のみでなく、重大製品事故外の事故についても工業会に報告することとしている。

(目次)

1. 事故・故障・クレームなどの情報の収集・分析と情報提供
2. 事故に係る報告
3. 事故対応の判断・注意事項
4. 事故の定義
5. 事故対応の公表
6. 事故対応推進体制の確立
7. 事故対応の事前準備
8. 事故対応の事前報告及び説明
9. 社内への周知
10. 製品の利用者への周知(事故対応の公表)
11. 事故対応状況の把握と報告
12. 工業会の役割
13. 消費生活用製品の事故対応フロー
14. 重大製品事故(A1)の報告書様式
15. 非重大製品事故(A2, B1, B2)の報告書様式

【2】製品の安全を確保・支援するための取組

②『ガス・石油機器の回収等の告知と安全使用に関するホームページ掲載ガイドライン』の制定

・2007年10月に初版発行

ガス機器や石油機器を安全にご利用いただくための情報や、統計資料を公開しています。

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances
JGIKA 一般社団法人 **日本ガス石油機器工業会**

サイトマップ

A₁ 文字サイズ ▶ [文字サイズの変更方法](#)

ホーム	工業会について	消費者の皆様へ	会員の皆様へ
-----	---------	---------	--------

[ホーム](#) リコール社告など製品安全に関する大切なお知らせ

 **リコール社告など製品安全に関する大切なお知らせ**

(社)日本ガス石油機器工業会 会員各社のリコール情報等をご案内します(各社ホームページへ移動します)。

ガス機器	石油機器
ガス調理機器	石油暖房機器



- [大阪ガス\(株\)](#)
- [東京ガス\(株\)](#)
- [東邦ガス\(株\)](#)
- [パナソニック\(株\)](#)
- [\(株\)パロマ](#)
- [リンナイ\(株\)](#)



- ▶ [\(株\)グリーンウッド](#)
- ▶ [\(株\)コロナ](#)
- ▶ [三洋電機\(株\)](#)
- ▶ [東芝ホームテクノ\(株\)](#)
- ▶ [\(株\)トヨトミ](#)
- ▶ [日本エー・アイ・シー\(株\)](#)
- ▶ [パナソニック\(株\)](#)

【3】製品安全文化構築への取組

1. 安全基準やガイドラインの等の策定

当工業会においては、工業会規格（JGKAS） 24件、ガイドライン12件、自主基準 53件を定め、製品安全関連を始め測定方法、表示基準等を定め、消費者に対する安全・安心・利便性の確保に寄与している。

JGKAS（日本ガス石油機器工業会団体規格）

注）本JGKASは会員使用を前提に公開しております。原則、外部への提供はお控えください。

	規格名称	制定・改正
Aガス機器	103	▶ 「箱込み型カセット」 業会自主基準（技術 F：346KB）
	104	▶ ガスコンロの早切れ B)
	201	▶ 業務用ガス瞬間湯沸 器（PDF：160KB）
	601	▶ ガス器具用標準サー
	602	▶ ガス器具用標準マグ
	603	▶ ガス器具用フレーム F：524KB）
	701	▶ ガス機器エネルギー 法（PDF：111KB）

ガイドライン

注）本ガイドラインは会員使用を前提に公開しております。原則、外部への提供はお控えください。

	ガイドライン名称	制定・改正
ガス機器	ガス栓・接続員の取扱説明書作成に関するガイドライン （PDF：367 KB）	2011/07/01制定
	カセットこんろの注	
	カセットボンベの注	
	ミニカセットボンベ	
	直結・分離型容器の	
	コンロパッケージ製	
石油機器	---	
共通	ガス・石油機器 製品 B)	

自主基準

注）本自主基準は会員使用を前提に公開しております。原則、外部への提供はお控えください。

	基準番号	自主基準名称	制定・改正
ガス機器	ガ001	▶ LPガス用温水機器の低NOx表示に関する指針 （PDF：19KB）	2005/06/01制定
	ガ002	▶ 都市ガス13A用LPガス用給湯暖房機の低NOx表示に関する指針 （PDF：19KB）	2005/07/20制定
	ガ003	▶ 省エネ法関連の運用ルールについて（グリル部・オープン部・給湯暖房用熱源機等） （PDF：559KB）	2014/09/30改正
	ガ004	▶ 家庭用ガスこんろ本体への製造事業者名の刻印表示につい （PDF：56KB）	2005/07/21制定

【3】製品安全文化構築への取組

2. 製品安全に関する情報発信

- ①JR東日本のトレインチャンネルの掲載
(METIガス安全広報コラボ活動として、METI、
ガス警報器工業会と同時期にカセットコンロ等
を実施した。)



- ②火災予防週間に合わせて
全国800箇所の消防署及び52箇所の消費者センターに対し、ガス機器・石油機器・
カセットコンロ&ボンベの安全啓発チラシを送付し、各種イベントでご活用頂いた。

- ③媒体広告によるガス・石油機器の消費者安全啓発の実施
『農業共済新聞』、『日本教育新聞』、各消費者団体の機関誌、『近代消防』誌、
『月刊ケアマネジメント』誌、『消費と生活』誌等

- ④工業会HPにおける安全啓発活動の実施
消費者に向けたガス・石油機器の安全な使い方について、動画やガイドブック、チ
ラシ等も活用し啓発おり、多数の消防署、公的機関よりリンクを張って頂いた。

【3】製品安全文化構築への取組

⑤ HCR2015 国際福祉機器展への出展



- ←展示全体
＜製品＞
- ・ガスコンロ
 - ・石油ストーブ
 - ・浴室暖房乾燥機
 - ・高齢者配慮リモコン
- ＜パネル＞
- ・給湯機10年で
点検・取替
 - ・製品安全への取組
 - ・他



- ←一般消費者対象
出展者セミナー

【3】製品安全文化構築への取組

3. 製品安全セミナー等への講師派遣

① 経済産業省主催の製品安全セミナーへ毎年講師を派遣

- ・2012年 北海道洞爺湖、茨城県筑西市、石川県金沢市、名古屋市(中部経済産業局)
- ・2013年 秋田県大曲、秋田県横手、名古屋市(中部経済産業局)
- ・2014年 山形県山形市
- ・2015年 青森県平内町、北海道苫前郡初山別村

② 全国LPガス協会と連携し、LPガス保安講習会に講師派遣 ガス機器の製品安全講習を実施

- 2012年 静岡県LPガス協会(1か所)、
茨城県LPガス協会(5か所)
- 2013年 新潟県LPガス協会(10か所)
- 2014年 愛媛県LPガス協会(8か所)

③ 石油連盟と連携し、消費者セミナーの開催

【3】製品安全文化構築への取組

②長期使用製品の点検・取替の開発活動の推進

JGKAでは今秋より、給湯機は10年で点検・取替の啓発活動を展開します。

**ガス給湯機・石油給湯機にも
寿命があります!!**

まずは
お使いの
給湯機を
チェック!!

火がつかにくい、時々ランプが点滅する、お湯がぬるくなったりする……
お宅の給湯機にごうした症状はありませんか?
長くお使いの製品だと経年劣化の兆しが出てくるかもしれません。
このような機器を使い続けると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リモコンが
きかなくなった

お湯が熱くなったり、
ぬるくなったりする

経年劣化
の
サイン

点検時期お知らせ
機能がはたらいた

大きな音が出たり、
異音が出たりしている

リモコン
表示に
88の表示が
出た

リモコンのランプが点滅
している(正常動作)

給湯機 10年たったら
点検・取替を。

経済産業省

一般社団法人
JGKA 日本ガス石油機器工業会

METIクレジット入りチラシ

2015年

! 長期間使用した製品は
重大な事故発生のおそれがあります!

**ガス給湯器
点検・取替えの目安は
10年**

**経年劣化注意!!
小型湯沸器編**

燃焼(燃焼ガスが室内
タイプ)は、経年劣化
不燃金網を破損し
危険です。

チェック!

- ガス臭い
- 排気口が煙で汚れている
- お湯がぬるい
- 異音や火花が頻りに出たりして
排気口が赤く熱い
- 外観が錆びている

勝手に火が燃えてしまっ
たり
器具が壊れるようになった
裏が赤または黄色い

ひとも当ててはまることがあったら、販売店がメーカーまでご連絡ください

放置すると、こんな危険が想定されます

臭い(ガス臭い)がする!

燃焼(燃焼の異常)がする!

一般社団法人
JGKA 日本ガス石油機器工業会

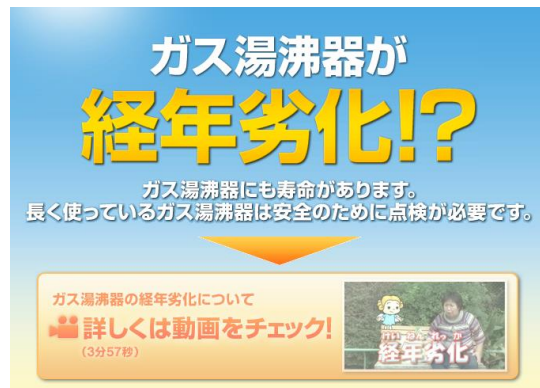
ガス給湯器10年で点検・取替解説リーフレット
(ガス事業者等による配布を想定)

2015年

【3】製品安全文化構築への取組

③安全啓発動画の作成

2012年より周知動画を製作し、動画広告やキャンペーン等により動画視聴を促進してきた。



2012年

湯沸器経年劣化編

メッセージ
「湯沸器も経年劣化すること」
「10年で点検」



2014年

炎太郎シリーズ編(3話)

メッセージ
「経年劣化すると事故のおそれが高まること」
「10年で点検」



2015年

ボボボシリーズ編(全8話予定)

メッセージ
「ガス・石油給湯器は10年で点検・取替」

【3】製品安全文化構築への取組

④ヒートショック周知キャンペーンの実施

ガス石油機器における製品安全事業の周辺関連事業として、入浴中の事故を防止するため、ヒートショックによる事故防止を目的に周知キャンペーンを実施した。併せて浴室や脱衣所暖房機器の提案も行う。

キャンペーン期間:2015.12.1～2016.01.31

参考:動画再生回数 9523回 キャンペーン応募10843人 (2016.01.13)



The poster features a central illustration of a man in a bathtub looking distressed. Text elements include: 'ニッポンの一大事! 知って予防!' (Japan's biggest thing! Know to prevent!), 'ヒートショック' (Heat Shock) in large stylized letters, 'クイズの全問正解者へプレゼント!' (Present for all quiz questions correct!), '20名様' (20 names) on either side of the prizes, 'シチズン電子血圧計 CH-650F' (Citizen electronic blood pressure monitor) and 'タニタ活動量計 AM-111-SV' (Tanita activity monitor) as prizes, '動画を見てクイズに答えよう!' (Watch the video and answer the quiz!), '応募期間 2015年12月2日(水)～2016年1月31日(日)まで' (Application period from Dec 2, 2015 to Jan 31, 2016), 'STEP 1 動画でヒートショックについて学ぼう! (約4分)' (Step 1: Learn about heat shock with the video! (approx. 4 min)), and a blue ribbon at the bottom saying 'しっかり見ればクイズはカンタン' (If you watch carefully, the quiz is easy).

【3】製品安全文化構築への取組

ヒートショック周知キャンペーンの実施(サイトの構成)

クイズ

STEP 2 クイズに答えてプレゼントに応募!(全6問)

第1問

お風呂から上がるとくらくなる最も大きな理由は?

A

お風呂につかっていたときにかかる水圧がなくなり、血圧が急に低下して、脳に血が行かなくなるため

B

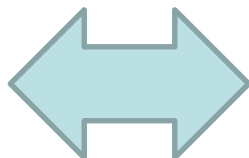
お風呂で気持ちよくなって眠くなるため

C

浮力が急になくなるため、バランスをくずしやすいため

危険 ヒートショックの恐るべき実態

暖房器具でヒートショック対策



動画

知って予防! ヒートショック

さらに熱いお風呂にはいることで、血圧は急降下します。

血圧

危険 ヒートショックの恐るべき実態

1 入浴中の急激な血圧変動で年間1万7,000人が入浴中急死!

東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所)の報告によると、入浴中の急激なヒートショックによる死亡死者数はなんと交通事故死者数(4611人 平成23年調べ)を大きく上回り年間17000人に及びます。

平成23年
交通事故死者数

4611人

入浴中の死亡者数

17000人

2 「ヒートショック」とは? 冬に頻発!

温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することなどが原因となり起こる健康被害のことで失神や心筋梗塞、不整脈、脳梗塞を起こすことがあります。

入浴時に急激な血圧低下により失神し、落ちて死亡するケースは、入浴時のヒートショックの典型的な例です。特に外気温が低くなる12月から1月の寒い時期は、入浴中に心臓機能停止となる人が多く、もっとも少ない8月のおよそ11倍に急増します。

入浴中の事故別発生率

月	発生数
1	700
2	600
3	500
4	450
5	400
6	350
7	300
8	250
9	200
10	250
11	400
12	750

解説サイト

安心 暖房器具でヒートショック対策

天井設置型「浴室暖房乾燥機」(温水式)

ガスや石油温水器で暖めたお湯を循環しパワフルに浴室を暖房、衣類乾燥機としても使え、最近ではミストが発生して、浴室を体い優しいミストサウナとして利用できる製品もあります。入浴前に浴室のドアをあけておけば脱衣所も暖まり一石二鳥です。さらに最近では1台でダクトを伸ばし、脱衣所も暖めることができるタイプも販売されています。

壁付け型「浴室暖房乾燥機」(温水式)

既存の浴室に後付けしやすいタイプで、パワフルさは天井付け型にひけをとりません。もちろん衣類乾燥にも使え、ミストを発生するタイプもあります。

壁付け型「脱衣所暖房機」(温水式)

ガスや石油温水器で暖めたお湯を循環しパワフルに脱衣所を暖めます。既存の脱衣所にも設置しやすいタイプです。

詳しくはメーカーまで

特別賞受賞に心よりお礼申し上げます。



**今後とも、さらなる製品安全を目指し、
取り組んでまいりますので、
引き続きご指導お願い申し上げます。**